

I 学校の教育目標

ふるさとに誇りを持ち、人間性豊かにたくましく生き抜く児童生徒の育成
～ 学びあい 支えあい みがきあい ～

II 育成を目指す資質・能力

聞く力・伝える力

IV 学校評価4点セットの学力の重点目標

聞く力、話す・表現する力、伝え合う力の育成

V 学校評価4点セットの学力に関する達成指標

「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができた」とA評価する児童の割合を70%以上
「授業や行事などで、相手の意見について自分の考えをもち、ペアやグループで伝え合うことができた」とA評価する児童の割合を70%以上

VI 授業改善の取組(「**授業改善の5点セット**」目標達成に向けた組織的な授業改善)

①授業改善テーマ	主体的・対話的で深い学びを目指す授業
②授業改善の重点	伝え合い、互いの考えを認め合いながら学びを深める授業の工夫

(研究仮説)

問題解決の場面で、目的や内容を明確にし、自分の考えを持たせようとしてペアやグループ、タブレットを用いた対話的活動を取り入れれば、伝えあい、互いの考えを活かしながら学びを深める児童が育つであろう。

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
1学期	自分の意見や思いを、書いたり伝えたりすることができる	○授業者は、ペア・グループ学習において考えを伝え合う時間を1日1回以上授業時に設定する。 ○大明タイムでNIEを活用した活動を週1回行う。 ○授業者は児童が発表したり、考えを交流したりする場面でICTを活用した活動を週1回以上取り組む。 ○ハッピータイムや朝会、体育の授業など、異学年が集まるときに感想発表の場を意識して設ける。 ○振り返りは、書く時間が取れないときはペア交流等でお互いに振り返りを設けるなど職員で意思統一をし、取り組みを行う。	○「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができた」とA評価する児童の割合を70%以上 ○「授業や行事などで、相手の意見について自分の考えをもち、ペアやグループで伝え合うことができた」とA評価する児童の割合を70%以上	

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
2学期				

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
3学期				

III 児童・生徒の課題

	学力状況について	学習状況について
児童・生徒の課題	○「1月日田市実施分学力調査」では、全学年国語・算数の12科目において、全国値を上回ったのは、2学年の4科目のみであった。2学年以外は、どの学年も、基礎基本の定着、思考・判断・表現力ともに課題が見られる。	○授業での振り返りや行事の際の感想発表など、多くの場を設定して自分の意見を話す機会を作ってきた。振り返りを書く活動についてはA評価の児童は72%であった。発表の場面で自分の意見を話す活動についてはA評価の児童は58%であった。児童が振り返りや意見を自信をもって言えるように改善していく必要がある。

VII 学習定着状況の把握とフォローの取組 および

個に応じた学習の取組(補充学習・習熟度別指導等) ※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	評価
1学期	○語彙力や文章読解の力を付ける学習活動や、算数の基礎・基本の内容の定着を図る学習活動の場(大明タイム・学び合いタイム)を設定する。	○週3回、朝の時間(大明タイム15分間)で、国語の基礎基の学習をおこなう。そのうちの週1回金曜日はNIEを活用した学習をおこなう。 ○週1回、昼の時間(学び合いタイム)で、算数の基礎基本の学習をおこなう。	
2学期			
3学期			

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

VIII 学校・家庭・地域の協働の取組

※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	1学期	2学期	3学期
家庭	家庭での親子読書の推進	学期に1回、親子読書週間を設定し、読書を通じて親子のコミュニケーションを図る。	評価		
地域	総合的な学習の時間への参画	ゲストティーチャーとして、授業・体験活動・探究活動等に学校の要請に基づいて協力する。			

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

IX 令和8年度日田市アクションプランの達成指標・取組指標

1 学校評価4点セットの達成状況

令和8年度学校評価の4点セット 達成指標(学力)の評価	1学期	2学期	3学期

※学期末の評価を1~4で入力(達成指標が複数ある場合は、平均を四捨五入した数値)
※プルダウンで数値を選択

2 取組指標

① 「楽しくて力の付く授業～新大分スタンダード改訂版～」と自校の【③取組内容】に基づいて、単元計画と本時案(略案)を作成して、授業を担当する全教員が11月までに公開授業(互見授業含む)を実施する。	授業担当者数 人	授業を公開した教員の割合	
		7月末時点 %	11月末時点 %

※割合(%)は四捨五入して整数表示

② 管理職等は、授業観察シートをもとに、経験の浅い教員(採用10年以内)1人に対し学期に3回以上授業観察を行う。	1学期	2学期	3学期

※プルダウンで○、×を選択

③ 計画的に互見授業を実施し、全教員が学期に1回以上自校の教員の授業を参観する(校内研を除く)。	1学期	2学期	3学期

※プルダウンで○、×を選択